

令和6年6月定例会 議案第50号の概要



串間市市制施行70周年



目次

1. 予算の規模
2. 一般会計予算の補正額
3. 歳出補正予算の主な事業
4. 主な事業の概要

1. 予算の規模

(単位：千円)

会計名		補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計		16,610,003	203,288	16,813,291
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	2,685,340	4,580	2,689,920
	後期高齢者医療特別会計	729,776	923	730,699
	介護保険特別会計(事業勘定)	2,542,891	136	2,543,027
	市木診療所特別会計	60,113	1,566	61,679
	小 計	6,018,120	7,205	6,025,325
病院事業会計		2,407,214	—	2,407,214
水道事業会計		796,380	—	796,380
下水道事業会計		224,112	△177	223,935
合 計		26,055,829	210,316	26,266,145

2. 一般会計予算の補正額

今回補正額

2億328万8千円

補正後予算総額

168億1,329万1千円

(単位：千円)

予算額	令和5年度 (最終)	令和6年度					補正後
		当初	第1号	第2号			
		16,440,000	170,003	203,288			16,813,291
	17,254,283						

3. 歳出補正予算の主な事業

I 持続可能な衛生環境の強化 92,967千円

- (1) 感染症予防事業 50,669千円
- (2) 木代都市下水道排水整備事業 42,298千円

II 魅力ある子育て環境の推進 18,987千円

- (1) 学校給食費据置支援【実質値下げ】 6,643千円
- (2) 福島小学校長寿命化改良事業 12,344千円

III 活気ある地域の創造 24,015千円

- (1) 自治会が購入する備品等の補助 4,600千円
- (2) 都井支所移転事業 19,415千円

IV 地域防災力の強化 5,945千円

- (1) 避難所設備の整備 4,945千円
- (2) 消防団活動の支援 1,000千円

V 地域輝く循環経済を目指すGXの推進 24,090千円

VI 市議会のDX推進 3,477千円

4. 主な事業の概要

I 持続可能な衛生環境の強化

感染症予防事業

50,669千円 医療介護課

新型コロナウイルスワクチンの接種については、令和5年度までは、「特例臨時接種」として全額国費・無料で実施されていたが、令和6年度から定期接種となったため、その接種に係る必要な経費を計上するもの。

(単位：千円)

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		50,669	36,861	87,530
財源内訳	国県支出金		808	808
	地方債			
	その他	31,531		31,531
	一般財源	19,138	36,053	55,191

接種対象者及び自己負担額

- 接種対象者
 - ・ 65歳以上の高齢者
 - ・ 60～64歳で重症化リスクの高い者
- 自己負担額
 - ・ 2,000円（接種費用の3割程度）
 - ※生活保護受給者については、無料

木代都市下水路排水整備事業

42,298千円 上下水道課

木代都市下水路は、山間部からの雨水を集水できず、一部エリアで道路冠水等が発生しているため、早急な被害解消が必要とされている。上流部の既設水路等を整備することで、流域内の排水機能を向上させ、浸水エリアへの流入を軽減する。

(単位：千円)

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		42,298	1,007	43,305
財源内訳	国県支出金			
	地方債	42,300	1,000	43,300
	その他			
	一般財源	△2	7	5

【事業費内訳】

- 登記委託 384千円
- 用地取得 623千円
- 整備工事 42,298千円（今回補正分）

4. 主な事業の概要

II 魅力ある子育て環境の推進

(1) 学校給食費据置支援【実質値下げ】

6,643千円

学校給食
共同調理場

(単位：千円)

物価高騰により食材費の価格が値上がりしていることから、食材費の値上げ分を支援することで、保護者の給食費負担を増やすことなく、これまでと同様に安心安全な学校給食を提供する。

学校給食費の1食あたりの値上額

- ▶ 小学生 現在236円 試算 262円 **値上額 26円** 支援予定額 4,243,200円
- ▶ 中学生 現在272円 試算 300円 **値上額 28円** 支援予定額 2,399,040円
- ▶ **実質支援額(値上げ分支援)** 小学生 5,304円/人 中学生 5,712円/人

学校給食の状況

年間の学校給食数 204食/人×1,220人=248,880食
 在籍数 小学生 800人 中学生 420人

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		6,643	2,516	9,159
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	その他	6,643		6,643
	一般財源		2,516	2,516

(2) 福島小学校長寿命化改良事業

12,344千円

学校政策課

(単位：千円)

長寿命化改良工事を実施するため、校舎の構造耐力、経年による耐力・機能の低下、立地条件による影響を調査し、建物の状態を総合的に評価する耐力度調査を行う。

耐力度測定調査業務委託費 12,344千円

- ▶ コア抜き・圧縮強度測定、評価報告書作成など
 - (1) RC2階建 校舎 5棟
 - (2) RC3階建 校舎 1棟
 - (3) RC1階建 トイレ 1棟

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		12,344	183,791	196,135
財源内訳	国県支出金		32,108	32,108
	地方債		92,100	92,100
	その他		59,500	59,500
	一般財源	12,344	83	12,427

4. 主な事業の概要

Ⅲ 活気ある地域の創造

(1) 自治会が購入する備品等の補助

4,600千円 市民協働課

一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に地域の様々な活動に対して助成を行うもの。

令和6年度事業実施自治会

- 下池自治会
 - 屋外無線放送システム整備 2,100千円
 - ・拡声親機
- 西本西方自治会
 - 屋外無線放送システム整備 2,500千円
 - ・拡声親機

(単位：千円)

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		4,600		4,600
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	その他	4,600		4,600
	一般財源			

(2) 都井支所移転事業

19,415千円 市民協働課

仮移転中の都井支所を本移転するため、旧都井中学校の改修に必要な工事を行う。

旧都井中学校工事内容

- 工事内容
 - (1) 内装及び屋上防水改修工事 4,906千円
 - (2) 電気設備改修工事 7,106千円
 - (3) 機械設備改修工事 7,403千円
- その他 システム移転費1,923千円(総合政策課)

(単位：千円)

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		19,415	2,794	22,209
財源内訳	国県支出金			
	地方債	3,800		3,800
	その他	15,615		15,615
	一般財源		2,794	2,794

4. 主な事業の概要

IV 地域防災力の強化

(1) 避難所設備の整備

4,945千円 危機管理課

県減災力強化推進事業の交付決定に伴い、市指定避難所の施設備品を整備する。また、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業の一環として行う、コミュニティ助成事業助成金の交付決定に伴い、自主防災組織の育成を図るため、地域の防災活動に直接必要な備品等の整備に対して補助を行う。

- 市指定避難所 3,045千円
 - (1) パーティション 82基
 - (2) 簡易ベッド 73台
- 寺里自主防災組織 1,900千円
 - (1) 防災資機材一式
(備蓄倉庫、発電機、照明、簡易ベッド・トイレ等)

(単位：千円)

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		4,945	6,427	11,372
財源内訳	国県支出金	1,015		1,015
	地方債			
	その他	1,900		1,900
	一般財源	2,030	6,427	8,457

(2) 消防団活動の支援

1,000千円 消防本部

一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業の一環として行う、コミュニティ助成事業助成金の交付決定に伴い、消防団員が災害現場で使用する資機材を整備する。

- 地域防災組織育成事業
- 消防団活動備品の整備
 - (1) ホースバッグ 20個
 - (2) 消防用ホース 20本

(単位：千円)

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		1,000	10,975	11,975
財源内訳	国県支出金		778	778
	地方債			
	その他	1,000		1,000
	一般財源		10,197	10,197

4. 主な事業の概要

V 地域輝く循環経済を目指すGXの推進

重点対策加速化事業

24,090千円

市民協働課

(単位：千円)

足元のエネルギー価格高騰への対策の必要性も踏まえつつ、地域全体で再エネ・省エネ・蓄エネといった脱炭素技術の新たな需要創出・投資拡大を行い、地域・くらし分野の脱炭素化を推進する。

事業補助金 22,572千円
事務費 1,518千円

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		24,090		24,090
財源内訳	国県支出金	24,088		24,088
	地方債			
	その他			
	一般財源	2		2

VI 市議会のDX推進

ペーパーレス化モバイルデバイス導入

3,477千円

議会事務局

(単位：千円)

議会改革の一環として、DX化を推進するためモバイルデバイスを導入し、会議のペーパーレス化を推し進め、議会運営の効率化を図る。

- ▶ 会議資料共有システム 一式
- ▶ コミュニケーションツール 一式
- ▶ モバイルデバイス 18台
 - ・市議会議員 13人
 - ・事務局員 5人

区 分		今回補正額	補正前の額	補正後の額
事業費		3,477	11,856	15,333
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,477	11,856	15,333